

第3回環境安全委員会資料1 補足資料

滞水した廃棄物の容器の輸送

概要

平成30年1月24日に発生。

- ・ 荷卸した廃棄物の容器内部に滞水を発見。 → 輸送を停止。
- ・ 翌25日、安全対策を講じた上で滞水の容器等を搬出元に返送。（輸送時に漏水はない旨を確認）
- ・ 29日、右記の対策を確定。
- ・ 30日、屋内の保管箇所から輸送再開。



原因

- ・ 保管中の廃棄物の容器に遮水シートをしたが、重ね部分や風でめくれた箇所から、雨水が浸入してしまった。
- ・ 搬出時に滞水を確認する仕組みがとられていなかった。

滞水の分析・処理

- ・ 滞水は、放射能濃度等の分析をした上で、濁水処理（凝集沈殿、フィルタープレス）等の処理を行った。
- ・ 滞水の分析結果は別紙のとおり。

改善事項

【保管の改善】

- ・ 屋外の保管場所を中心に、雨水侵入防止等の対策を徹底する。（シートの遮水効果の確保、廃棄物容器への個別カバー追加等）



【搬出時の改善】

- ・ 点検表により、本体の損傷、廃棄物の漏出、滞水の有無、及びベルト部の損傷の有無を、全ての廃棄物容器について点検し、記録する。

収納容器点検表

品名	種	月	日	運搬車台番号	品検時間
品名					
品検場所					
品検者					
品検時刻					
異型コンテナ/汎用コンテナ				品検確認	
廃棄物/汚染物質					
No.	収納容器番号	品名の記載/破れ	品検時品中の内容	品中の内容	品検結果
1					
2					

【搬送車両の改善】

- ・ 車両の荷台に逸水防止シートを設置し、積荷から逸水した場合に、荷台外への逸水を防止する。



(参考) 滯水分析結果

No.	試料採取日	放射能濃度(懸濁態)				放射能濃度(ろ過態)				pH	SS (mg/L)	塩化物イオン (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)
		Cs-134(Bq/L)		Cs-137(Bq/L)		Cs-134(Bq/L)		Cs-137(Bq/L)					
		試験結果	検出下限値	試験結果	検出下限値	試験結果	検出下限値	試験結果	検出下限値				
1	2018/1/26	検出下限以下	0.86	検出下限以下	0.87	検出下限以下	0.86	検出下限以下	0.99	12.5	910	2100	720
2	2018/1/26	検出下限以下	0.82	0.94	0.84	検出下限以下	0.89	検出下限以下	0.93	12.0	2290	3400	1000
3	2018/1/26	検出下限以下	0.82	検出下限以下	0.80	検出下限以下	0.89	検出下限以下	0.76	12.1	1030	3500	1000
4	2018/1/27	検出下限以下	0.93	1.3	0.85	検出下限以下	0.61	検出下限以下	0.74	12.1	3100	3800	1100
5	2018/1/27	検出下限以下	0.95	2.1	0.83	検出下限以下	0.75	1.7	0.79	12.8	242	1100	640
6	2018/1/27	検出下限以下	0.88	1.7	0.93	検出下限以下	0.96	1.7	0.64	12.9	601	2300	930
7	2018/1/27	検出下限以下	0.87	1.5	0.98	検出下限以下	0.94	0.82	0.81	12.8	1940	2300	920